



### タイムラインとは？

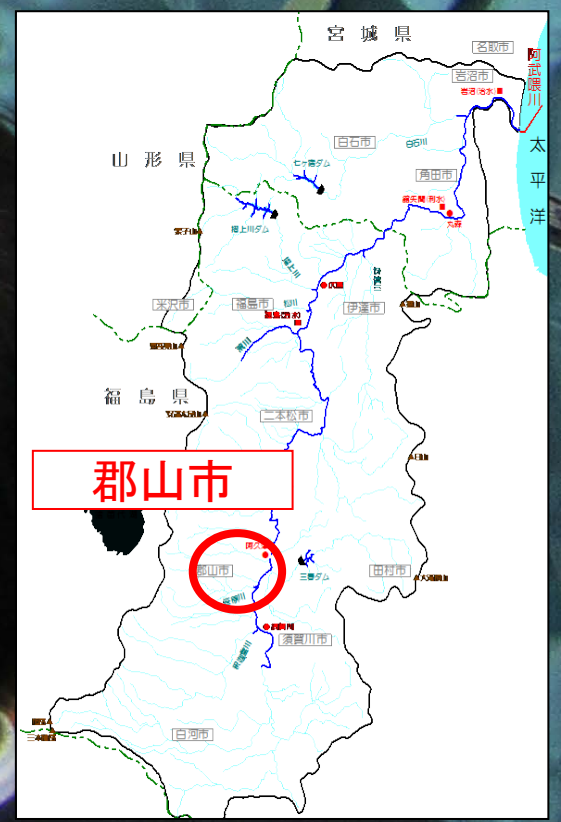
タイムラインとは、自治体・関係機関・地域住民・民間団体等が災害時に、「いつ」「誰が」「何を」するのかを時系列にとりまとめた事前防災行動計画で、日本でも運用され始めています。

実際に試行・運用を行いながら、検証・改善を行うことがとても重要です。結果的に、タイムラインが命を守る仕組みに繋がります。

(H28.2.12郡山市タイムラインセミナー講演より)

松尾一郎氏 (CeMI環境・防災研究所 副所長)

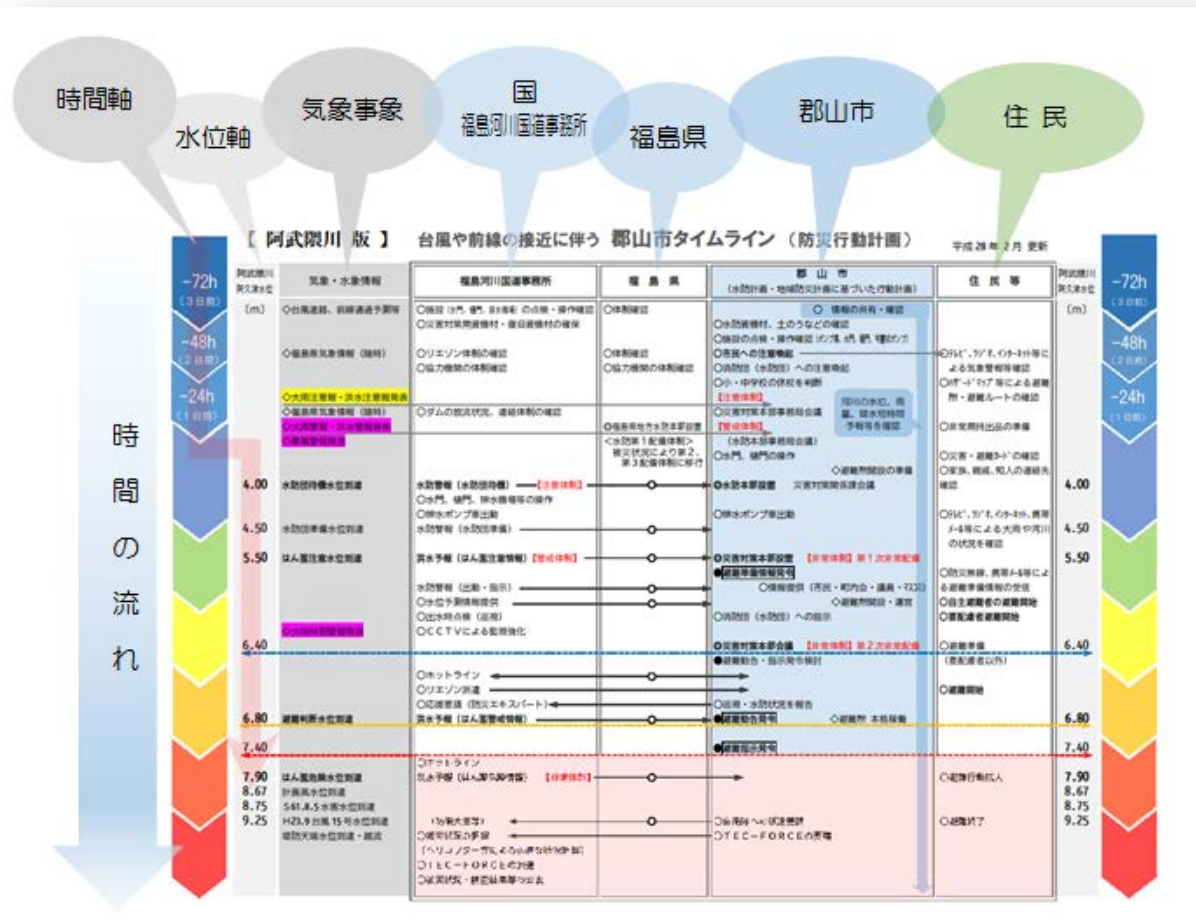
タイムライン(詳細版)検討会の様子



## 水防災意識社会再構築ビジョンにもとづき「郡山市タイムライン(詳細版)試行案」を策定しました！

# 従来

### 従来の郡山市タイムライン



郡山市で既に策定したタイムライン (H28.2)

※市関係部局:郡山市(防災危機管理課、河川課、広聴広報課、市民・NPO推進課、保健福祉総務課、こども未来課、こども育成課、農地課、道路維持課、下水道維持課、生涯学習課、学校管理課、総務議事課)  
※関係機関団体:福島河川国道事務所、福島地方気象台、郡山警察署・北警察署、郡山広域消防組合、市消防団

【課題】従来の郡山市タイムラインでは、庁内各課や庁外関係部局の役割・行動についてより詳細に明確化する必要がありました

### 対応策 郡山市タイムライン(詳細版)検討会開催 [H29.1~3]

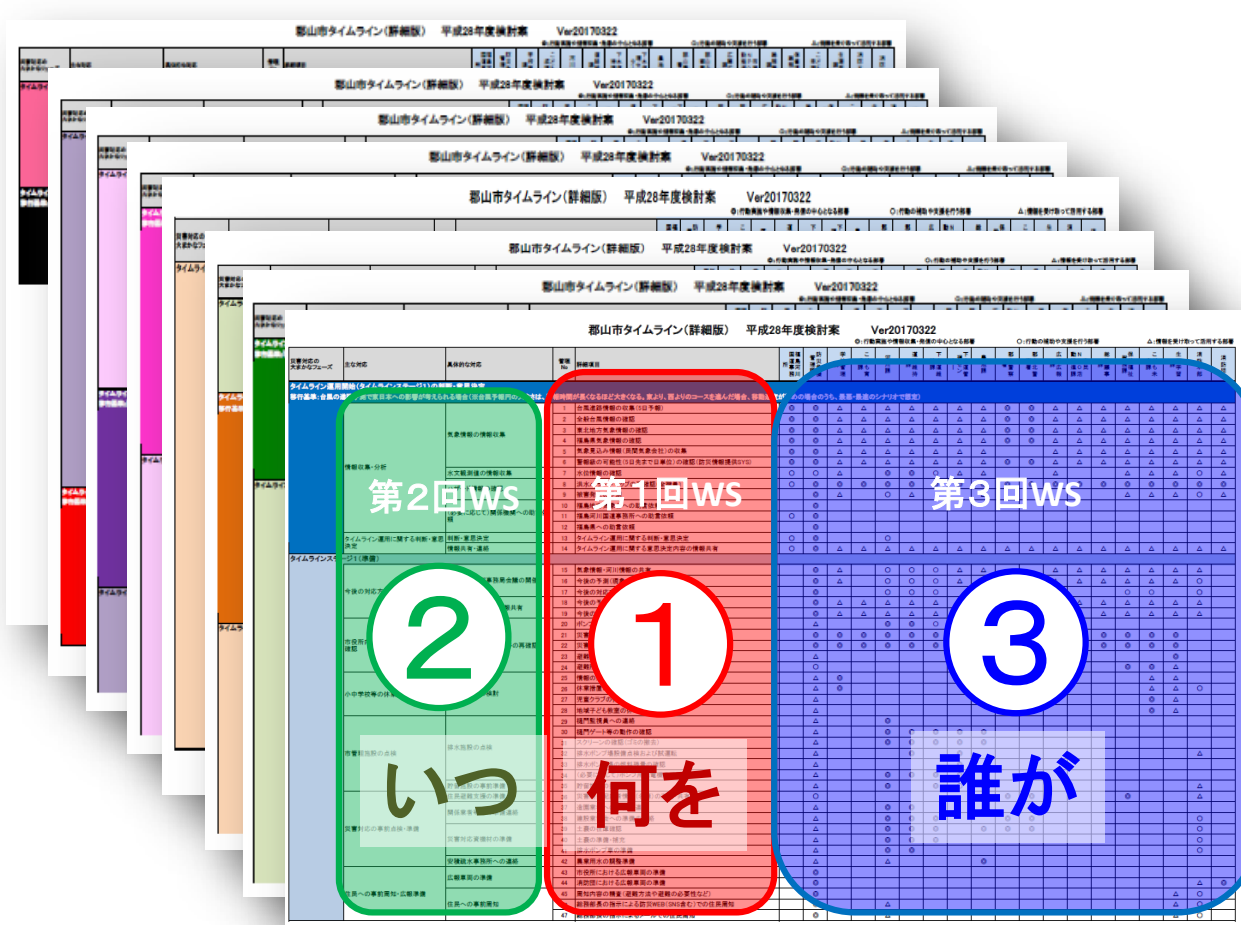
- ① 必要な防災行動(何を)を整理
- ② 行動手順・実施時期(いつ)を整理
- ③ 役割分担(誰が)や対応切替基準設定



第1回検討会(H29.1.11) ▶ 第2回検討会(H29.2.15) ▶ 第3回検討会(H29.3.15)

# 改善

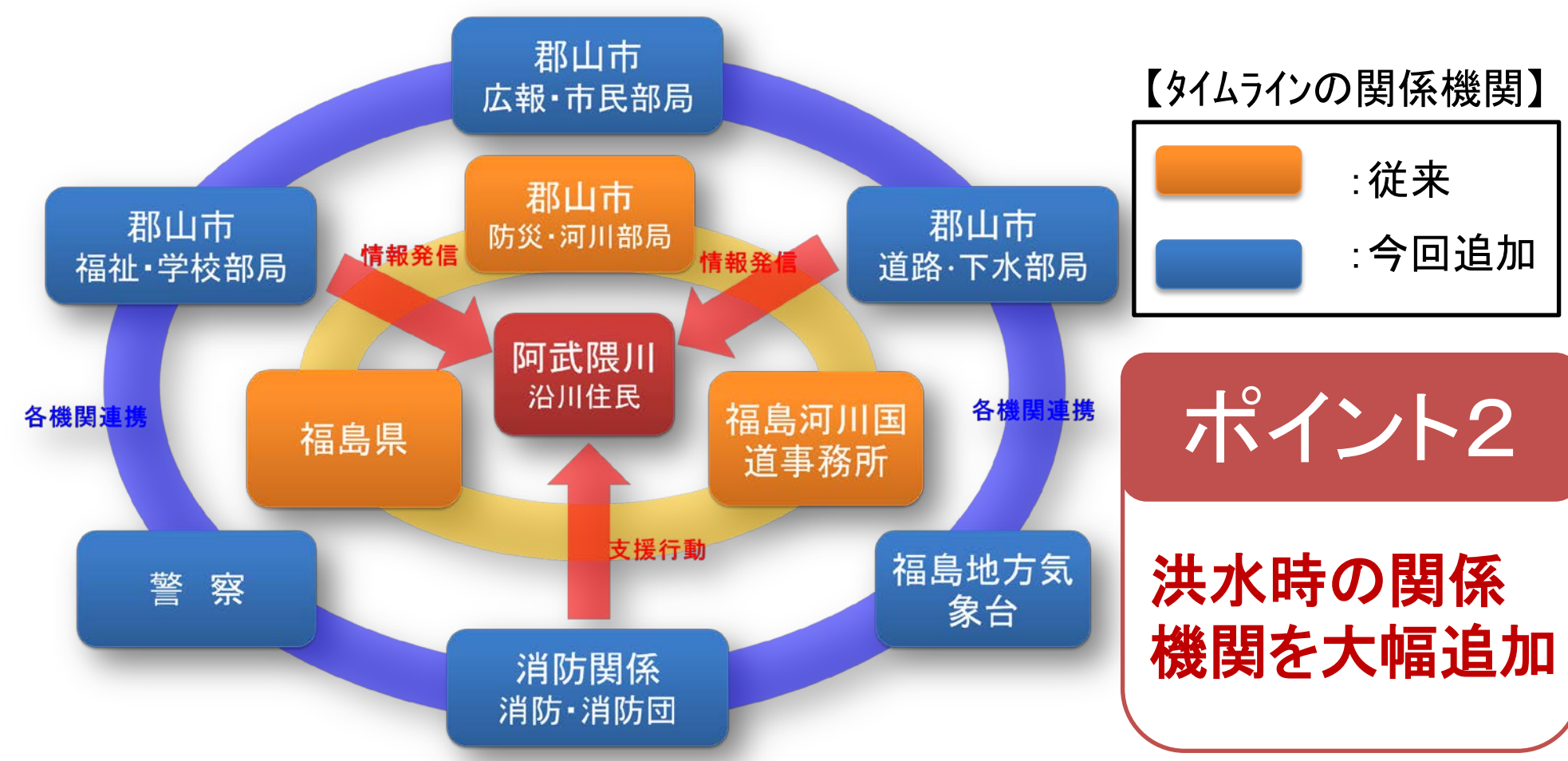
### 改善後のタイムライン(詳細版)



今回、新たに策定したタイムライン(詳細版)(H29.3)

【改善】庁内外関係者※が一同に介し、332個にわたる防災行動項目について「いつ・誰が・何を」するか詳細に整理しました。

**ポイント1**  
332個(計8枚)にわたる緻密な防災行動



**ポイント2**  
洪水時の関係機関を大幅追加

タイムライン(詳細版)に新たに加わった関係機関

激甚化する水害に備え、平成28年2月に策定した「郡山市タイムライン」を基に、より詳細な防災行動計画となるよう、庁内外関係機関の役割等を明確化した「タイムライン(詳細版)試行案」を平成29年3月に策定しました。

平成29年度は当タイムライン(詳細版)試行案を試行し、実際の対応の中で判明した諸課題を検証しながら、実効性のあるタイムラインとするため随時見直しを行います。

※本タイムラインは、平成29年3月時点の試行案であり、今後の検討等の中で変わることがあります。